

平成29年度 当初予算のポイント

行田市

1 総括

平成29年度の当初予算は、多様化する行政需要に対応するため、徹底的なコスト縮減と、事業の選択と集中を図るとともに、「行田市版骨太の方針」の3つの柱である「人口減少対策」「安心安全の確保」「魅力あるまちの創出」を推進する重点政策や「行田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づく事業に、財源を優先的に配分したところである。

第5次行田市総合振興計画に定める市の将来像である「古代から未来へ 夢をつなぐまち ぎょうだ」の実現を目指し、財政健全化の取り組みを継続しつつ、市民と行政との創意工夫により、活力と希望に満ちたまちを目指すものである。

2 予算規模

一般会計予算 252億1,000万円
 (28年度 258億5,000万円)
 (前年度当初比 2.5%減)

特別会計、公営企業会計を含めた総額は、
 482億8,448万円
 (28年度 482億5,003万円)
 (前年度当初比 0.1%増)

【国】	9兆7,547億円
(28年度)	9兆6,218億円
	(前年度当初比 0.8%増)
【県】	1兆8,644億円
(28年度)	1兆8,805億円
	(前年度当初比 0.9%減)
【地方財政計画】	8兆6,198億円
(28年度)	8兆5,593億円
	(前年度当初比 1.0%増)
【地方財政計画】 〔地方一般歳出〕	7兆6,333億円
(28年度)	6兆9,137億円
	(前年度当初比 1.0%増)

<参考> 一般会計当初予算の推移

(単位：千円、%)

年 度	20	21	22	23	24
当初予算額	23,830,000	22,800,000	24,140,000	24,530,000	23,680,000
伸 び 率	3.2	△4.3	5.9	1.6	△3.5
年 度	25	26	27	28	29
当初予算額	24,680,000	25,860,000	25,880,000	25,850,000	25,210,000
伸 び 率	4.2	4.8	0.1	△0.1	△2.5

3 歳 入

- (1) 市税収入は、売渡本数減少により、市たばこ税が減収するものの、景気回復に伴う賃金上昇及び企業業績の回復による市民税、新增築家屋の増加による固定資産税、3輪以上の軽自動車の新税率移行の影響による軽自動車税の増収がこれを上回ると見込まれることから、前年度比1億4,881万円(1.5%)の増となった。

<参考> 市税の推移

(単位：千円、%)

年 度	25	26	27	28	29
当初予算額	10,004,593	9,995,490	10,023,831	10,019,626	10,168,432
伸 び 率	△ 0.4	△ 0.1	0.3	△ 0.0	1.5
構 成 比	40.5	38.6	38.7	38.8	40.3
決 算 額	10,326,074	10,387,605	10,312,697	—	—
伸 び 率	△ 0.5	0.6	△ 0.7	—	—

- (2) 地方交付税は、前年度決算見込みと地方財政計画の内容を勘案して試算した結果、前年度と同額となった。
- (3) 財源不足を補うための基金取崩しについては、将来的な財政運営の観点から最小限に抑え、財政調整基金から4億円(前年度同額)、職員退職手当基金から1億円(前年度同額)を計上した。
また、ふるさとづくり事業に充てるため、ふるさとづくり基金から2,340万円(前年度比△160万円)の取崩しを計上した。
- (4) 市債は、事業を厳選するとともに、合併特例債をはじめとした交付税措置のある有利なものを活用することとしている。市債発行額は19億7,150万円(前年度比△6億750万円、△23.6%)を計上し、市債依存度は前年度比△2.2%の7.8%となった。
主な理由は、総合公園整備事業及び忍・行田公民館整備事業などの大規模事業が大幅に減少したことによる影響が大きい。

<参 考> 市債(一般会計)の推移

(単位：千円、%)

年 度	25	26	27	28	29
当初予算額	2,775,300	3,380,800	2,785,800	2,579,000	1,971,500
伸 び 率	28.0	21.8	△ 17.6	△ 7.4	△ 23.6
依 存 度	11.3	13.1	10.8	10.0	7.8
年度末現在高	25,567,633	27,322,828	27,659,798	27,473,688	26,796,198
伸 び 率	3.1	6.9	1.2	△ 0.7	△ 2.5
特例地方債を除いた残高	11,047,330	12,199,407	11,969,268	11,577,470	10,684,015
伸 び 率	0.3	10.4	△ 1.9	△ 3.3	△ 7.7

※ 29年度の地方財政計画における地方債依存度 10.6%

※ 28年度末、29年度末における市債残高については見込み数値

(1) 「行田市版骨太の方針」重点施策**① 人口減少対策****《企業誘致などによる雇用環境の創出》**

- 創業者支援助成事業 7,200千円
・Uターン創業支援 ・後継者支援 ・第二創業支援
- 起業家支援助成事業 14,944千円
・市内の空き店舗等を利用して新規に事業を開始する者への助成
- 企業立地促進事業 184,287千円
・企業誘致に係る情報交換会 ・企業誘致PR ・企業立地奨励金
- エコノミックガーデニング事業 19,866千円
・中小企業振興事業補助金（・事業拡大設備投資事業補助金 他） 他

《特色ある教育の推進》

- パワーアップサポーター配置事業 11,010千円
・児童の学力と教師の指導力向上を図るため、ベテランの非常勤講師を配置
- 少人数学級編制事業 136,324千円
・小中学校全学年で少人数学級編制を実施するため、市費負担教職員を任用
- 小中学校英語活動推進事業 52,447千円
- 中学生海外派遣事業 7,849千円
- きらきらサポーター配置事業 35,951千円
・小中学校の特別支援学級等で児童・生徒の学校生活を補助するサポーターの配置
- 早期療育事業 3,840千円
・発達に課題のある幼児・児童を対象に早期療育を実施
- いじめ対策事業 14,279千円
・いじめ問題対策連絡協議会設置 ・さわやか相談員配置 他
- 小中学校トイレ改修事業 360,000千円
・改修工事（小学校4校）
- ブックスタート及びセカンドブック事業 2,409千円
- ☆ コミュニティ・スクール事業 900千円
・段階的に、地域住民が各小中学校の学校運営に参画する体制を確立
- ☆ マイ足袋作製体験事業 1,624千円
・小学校3年生の「ぎょうだの学習」のまとめとして、マイ足袋作製体験学習を実施

《子育て環境の充実》

- 子育て世帯定住促進事業 47,400千円
・転入者住宅取得奨励金 ・市内事業者施工奨励金 ・三世代同居・近居奨励金
- 子ども医療支給費 250,000千円
・入院・通院とも中学校卒業まで無料化（H23年4月～）
- 多子世帯給食費給付事業 8,000千円
・市立小・中学校又は特別支援学校に在籍している子供を3人以上養育している保護者に対し、3人目以降の子供について学校給食費の補助（無償化）を実施
- 子育て包括支援センター事業 4,745千円
・妊娠・出産・産後間もない時期を安心して過ごせるよう切れ目のない支援を実施
- 4カ月児健診個別健診事業 4,451千円
・医療機関への委託による個別方式での実施により診察機能及び相談機能を充実
- 放課後児童対策事業 185,476千円
・学童保育室運営（公設16カ所：☆うち1カ所H29年4月1日開室、民設1カ所） 他
- 地域子育て支援拠点事業 27,695千円
・きつずプラザあおい運営委託料 ・つどいの広場委託料（5カ所） 他
- 病児・病後児保育事業 15,902千円
・保護者の就労等で家庭での看護が困難な小3までの児童に対して預かり保育を実施

② 安心安全の確保

《地域づくりの推進》

- 安心生活創造事業 3,689千円
 - ・ 市民が地域で支え合う「いきいき元気サポート制度」を引き続き実施
- 市民活動サポートセンター事業 2,239千円
 - ・ 市民活動サポートセンターを中心に協働のまちづくりを推進
- まちづくり元気創出事業 1,000千円
 - ・ 自治会が行政を補完する公共の担い手となるための足がかりをつくるための補助
- 防犯灯設置費及び電気料補助事業 12,926千円
- 循環バス運行事業 88,915千円
 - ・ 全6路線の運行事業費 他
- 生活路線バス支援事業 14,333千円
 - ・ 路線バス吹上線運行経費の一部補助
- ☆ デマンドタクシー利用助成事業 33,164千円
 - ・ 交通弱者（75歳以上の高齢者及び障害者）の移動手段を確保するため、利用料金の一部助成
- ☆ 運転免許証自主返納者支援事業 1,752千円
 - ・ 運転免許証自主返納者の移動手段を確保するため、タクシー券を交付

《適切なインフラの整備》

- ☆ 幹線道路整備事業 10,000千円
 - ・ 主要幹線道路整備（須加地区調査測量委託）
- ☆ 踏切道拡幅事業 4,000千円
 - ・ 行田市駅西側踏切（行田市No.1）拡幅整備（調査測量設計委託）
- 橋りょう長寿命化事業 52,000千円
- 排水路等整備事業 170,047千円
 - ・ 出水対策事業（西新町、藤原町一丁目・富士見町一丁目、太井） 他
- [下水道特別会計] 緑町ポンプ場改修事業 97,120千円
 - ・ 緑町ポンプ場長寿命化対策工事

《防災体制の強化》

- 消防施設整備事業 118,643千円
 - ・ 消防車両の更新（北分署高規格救急自動車、南分署CD-I型消防ポンプ自動車）・消防団庁舎の改修 他
- ☆ 老朽空き家等対策管理OAシステム化事業 1,000千円
 - ・ 空き家バンク創設を見据えた中でデータベース化を実施
- 老朽空き家等解体補助事業 1,500千円
 - ・ 解体工事費用の1/2を負担（上限500千円）
- 木造住宅耐震改修等補助事業 650千円
 - ・ 耐震診断補助1/2を負担（上限50千円） ・ 耐震改修補助23%を負担（上限200千円）
- 消防団員の処遇改善事業 12,507千円
 - ・ 消防団員の処遇改善を行い、消防団組織の更なる充実強化を図る
- 緊急防災体制整備事業 11,382千円
 - ・ 防災情報メール配信委託 ・ 避難所備蓄倉庫及び災害備蓄品の整備 他
- 公共施設耐震化関連事業 80,800千円
 - ☆ 中学校屋内運動場等非構造部材等耐震改修工事設計（行田、長野、埼玉、太田）
 - ☆ 産業文化会館非構造部材等耐震改修工事設計
 - ☆ 総合体育館非構造部材等耐震改修工事及び照明器具更新LED化工事

③ 魅力あるまちの創出

《健康づくりの推進》

- 市民けんこう大学開催事業 1,132千円
- 健康づくりチャレンジポイント事業 1,564千円
 - ・健康づくりに関する事業への参加に対してポイント制度を設け、活動参加を促進
(☆達成者全員に市内共通商品券贈呈、☆街灯フラッグで制度周知)
- 禁煙チャレンジ応援プラン助成事業 518千円
- 薬局を拠点とした健康づくり事業 649千円
 - ・禁煙サポーター薬局事業 ・糖尿病早期発見事業
- 各種疾病の早期発見事業 59,488千円
 - ・がん検診など各種検(健)診の実施

《賑わいある都市拠点の整備》

- ふるさとづくり事業(ふるさとづくり基金活用事業) 23,492千円
 - ・足袋蔵等歴史的建築物改修・活用事業への補助金
 - ・行田らしさを感じさせる建物改修、塀や看板の設置・改修への補助金
 - ・観光客向け案内標識、休憩・授乳施設等の整備に対する補助金
 - ☆市指定文化財に登録された歴史的建築物改修への補助金
- 行田らしいまち並みづくりと賑わい創出事業 92,330千円
 - ・歴史的街路整備事業 ・文化ゾーン修景整備事業(せせらぎ歩行空間整備)
 - ・街なかサイン整備事業 ・地域まちづくり活動支援事業 ・チャレンジショップ事業
- JR行田駅前広場周辺再整備事業 45,500千円
 - ・壱里山公園移転整備工事 ☆第3壱里山自転車駐車場及び清水町自転車駐車場の水路構造分析等
 - ☆駅前広場周辺再整備実施設計業務委託 ☆駅前広場周辺再整備事業まちづくり検討業務委託
- 産業交流拠点整備事業 112千円
 - ☆産業交流拠点サウンディング事前調査

《地域資源などの活用による交流人口の拡大》

- 情報発信強化事業 2,610千円
 - ☆行田の足袋をアピールする動画作成 他
- 観光客誘致推進事業 67,744千円
 - ・「忍城おもてなし甲冑隊」による観光PR活動 ・観光協会補助金(☆フィルムコミッション含む)
 - ・行田市バスターミナル観光案内所とJR行田駅前観光案内所の運営委託
 - ・インバウンド観光推進 ☆自転車による行田の街探検事業
- ☆ 行田創生RPG開発事業 5,000千円
 - ・行田市を舞台としたスマートフォン用ゲームアプリを開発
- 「足袋のまち行田」活性化プロジェクト事業 19,600千円
 - ・「足袋のまち行田」活性化推進協議会補助
- 田んぼアート、わらアート事業 21,000千円
 - ・田んぼアート10周年
- 国登録有形民俗文化財資料整備事業 3,675千円
 - ・市の基幹産業であった足袋産業に関する資料の整理と調査

(2) その他の主な事業

○ ふるさと納税促進事業	18,581千円
☆ 自治会マップ作成事業	400千円
○ 公共施設マネジメント計画策定事業	6,000千円
○ 住宅用太陽光発電システム設置補助事業	2,400千円
○ 住宅用高効率給湯器設置補助事業	1,500千円
○ 住宅用蓄電池設置補助事業	500千円
☆ 長野保育園駐車場整備事業	18,000千円
○ 斎場火葬炉改修事業	20,780千円
H28～H31年度の継続費（事業総額85,376千円）	
☆ 廃棄物処理基本計画策定事業	11,000千円
☆ 古代蓮会館展示室再整備事業	20,000千円
○ 忍・行田公民館整備事業（旧館解体及び駐車場整備）	80,000千円
☆ 郷土博物館施設設備改修事業	6,300千円